【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成21年12月24日(2009.12.24)

【公開番号】特開2007-152141(P2007-152141A)
【公開日】平成19年6月21日(2007.6.21)
【年通号数】公開・登録公報2007-023
【出願番号】特願2007-33279(P2007-33279)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　17/58　　(2006.01)
Ａ６１Ｆ　 2/44　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　17/58　　３１０
Ａ６１Ｆ　 2/44

【誤訳訂正書】
【提出日】平成21年11月4日(2009.11.4)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】請求項４
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【請求項４】
上面及び底面を備えるとともに前記面の間に複数の穴が設けられた細長いプレートであって、前記複数の穴の少なくとも１つの穴は、第１の直径を備えた前記上面に隣接した球形の溝部分及び前記第１の直径以下の第２の直径を備えた前記底面の開口を有する細長いプレートと、
骨係合ネジ山を形成する細長い軸部、拡大ヘッド及び前記軸部と前記ヘッドとの間の中間部分を有する骨係合固定具であって、前記軸部は前記プレートの前記上面から前記少なくとも１つの穴を通って前記骨係合固定具を挿入することができるように前記第２の直径より小さい外径を有し、前記拡大ヘッドは、前記少なくとも１つの穴の前記球形の溝に補完的な、一部が球形の面を形成する骨係合固定具と、
前記プレートの前記溝部分内に前記骨係合固定具の前記ヘッドを固定する固定ネジ組立体であって、前記少なくとも１つの穴に隣接して前記プレートに形成された固定具穴と、前記固定具穴に隣接して前記プレートに形成された切り欠き部分と、中央穴及び前記中央穴に連通する溝を有し、前記骨係合固定具が前記少なくとも１つの穴を貫通するとき前記骨係合固定具の前記ヘッドに接触するように形成された外面を有するワッシャであって、前記ワッシャが前記プレートに対して前記ワッシャの回転を防止するために前記プレートの前記切り欠き部分内に配置されるように形成された前記中央穴に隣接したキーを有するワッシャと、前記ワッシャの前記溝に配置されるように形成されたヘッド及び前記中央穴を貫通して延び前記プレートの前記固定具穴に係合するように構成された細長い軸部を有する固定具と、を有する固定ネジ組立体と、
を有する骨固定装置。